

## 今年もマスク越しのお花見に

上原 昇 (2組)

3月24日(水)は日中の気温が20度を超え、初夏のような好天となりました。昨年もたまたま同じ日(3/24)に当HPに、いつもと違うお花見のレポートをしていますが、今年もコロナ禍の中での静かなお花見となりました。

埼玉県の桜の名所の一つでもある大宮公園は、我が家から約3kmほどあり、歩くとちょっとした遠足になります。

大宮公園の花見は例年ですと、桜の下で賑やかな宴会や食事が繰り広げられますが、ここ2回は自粛要請もあり静かな桜見物となりました。

それでも、首都圏では先日、非常事態宣言が解除されたばかりとあって、花見客の数は昨年よりかなり多いようです。

1年以上続いているコロナ禍が一日も早く収束することを、隣の大宮氷川神社でお祈りしてきました。

上田城址公園の桜の満開時期はもう少し先になるのでしょうか。

大宮公園の奥まった一画にある埼玉県立歴史と民族の博物館では、現在、NHK大河ドラマ特別展「渋沢栄一のまなざし」を開催中だったので、ついでに見学してきました。そこでは、栄一の生涯について、初公開の各種資料なども含め展示、紹介しています。

[https://saitama-rekimin.spec.ed.jp/page\\_20201219235624](https://saitama-rekimin.spec.ed.jp/page_20201219235624)

館内でみたパンフで信州と関係のある話を目にしました。

ドラマのタイトル『青天を衝け』は栄一が19歳の頃、長野県佐久を訪れた際に詠んだ漢詩からとったとのこと。

佐久市内山地区にある阿夫利(あふり)神社脇の岩肌に全文260字の漢詩が刻まれた詩碑があります。その中に「勢衝青天攘臂躋・・・」(勢いは青天を衝き、臂〈ひじ〉を攘〈はら〉いて躋〈のぼ〉る=青空をつきさす勢いで肘をまくって登る)という一節があるそうです。

同展は5月16日(日)まで開催されています。(月曜は休館)

関心のある方はお運びください。

なお、同期の埼玉を中心とした名所旧跡を訪ねる「蕨の会」では、2014年4月に大宮公園を、2015年4月には渋沢栄一の生誕の地、深谷を訪れている。

<http://ueda65ki.sakura.ne.jp/NEWS/WarabinoKai140405.pdf>

[http://ueda65ki.sakura.ne.jp/NEWS/6thWARABI\\_Kai150406.pdf](http://ueda65ki.sakura.ne.jp/NEWS/6thWARABI_Kai150406.pdf)

以下写真3葉



【写真 1：満開の桜の下は静か】



【写真 2：公園内の池に映る桜】



【写真 3：渋沢栄一のまなざし展】

以上